

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成30年1月18日 (2018.1.18)

【公表番号】特表2017-535870(P2017-535870A)

【公表日】平成29年11月30日 (2017.11.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-046

【出願番号】特願2017-525333(P2017-525333)

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/445 (2018.01)

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 5 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月26日 (2017.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 つ又は複数のプロセッサを有する装置によって実行される二次元 (2 D) コードスキャンインタラクション方法であって、

前記装置により 2 D コードをスキャンして、前記 2 D コードに対応する第 1 の 2 D コード値を取得することと、

前記第 1 の 2 D コード値に対応する第 2 の 2 D コード値を取得することと、

前記第 2 の 2 D コード値に対応するアプリケーションを呼び出し、前記アプリケーションを介してインタラクションのために前記第 2 の 2 D コード値を開くことと
を含む、方法。

【請求項 2】

前記第 1 の 2 D コード値は、識別情報を含み、

前記第 1 の 2 D コード値に対応する前記第 2 の 2 D コード値を取得することは、前記識別情報に対応する前記第 2 の 2 D コード値を取得することを含む、請求項 1 に記載の方法
。

【請求項 3】

前記第 2 の 2 D コード値に対応する前記アプリケーションを呼び出し、インタラクションのために前記第 2 の 2 D コード値を開く前、前記方法は、

前記第 2 の 2 D コード値に対応する、呼び出された前記アプリケーションで前記第 2 の 2 D コード値を開くことのセキュリティを検証することを更に含み、

前記第 2 の 2 D コード値に対応する前記アプリケーションを呼び出し、インタラクションのために前記第 2 の 2 D コード値を開くことは、

前記セキュリティを成功裏に検証した後、前記第 2 の 2 D コード値に対応する前記アプリケーションを呼び出し、インタラクションのために前記第 2 の 2 D コード値を開くこと
を含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 2 の 2 D コード値に対応する、呼び出された前記アプリケーションで前記第 2 の 2 D コード値を開くことのセキュリティを検証することは、

前記識別情報に対応する第 1 の鍵を取得することと、

前記アプリケーションに対応するアプリケーションサーバに前記第 1 の鍵を送信するこ

とであって、前記第 1 の鍵は、前記アプリケーションサーバによって、前記識別情報に対応する記憶された第 2 の鍵と比較するために使用される、送信することと、

前記アプリケーションサーバから検証結果を受信することであって、前記検証結果は、前記第 1 の鍵が前記第 2 の鍵に一致することに基づくセキュリティ検証の成功であるか、又は前記第 1 の鍵と前記第 2 の鍵とが異なることに基づくセキュリティ検証の失敗である、受信することと

を含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 2 D コードをスキャンして、前記 2 D コードに対応する前記第 1 の 2 D コード値を取得することの前、前記方法は、

前記第 2 の 2 D コード値に従って前記 2 D コードを生成すること
を更に含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

2 D コードスキャンインタラクション装置であって、

2 D コードをスキャンして、前記 2 D コードに対応する第 1 の 2 D コード値を取得するように構成されるスキャンユニットと、

前記第 1 の 2 D コード値に対応する第 2 の 2 D コード値を取得するように構成される取得ユニットであって、前記第 1 の 2 D コード値は、前記第 2 の 2 D コード値に従って生成され、前記第 2 の 2 D コード値に対応している、取得ユニットと、

前記第 2 の 2 D コード値に対応するアプリケーションを呼び出し、前記アプリケーションを介してインタラクションのために前記第 2 の 2 D コード値を開くように構成される呼び出しユニットと

を含む、装置。

【請求項 7】

前記第 1 の 2 D コード値は、識別情報を含み、

前記取得ユニットは、前記識別情報に対応する前記第 2 の 2 D コード値を取得するように構成される、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記装置は、

前記呼び出しユニットが、前記第 2 の 2 D コード値に対応する前記アプリケーションを呼び出し、インタラクションのために前記第 2 の 2 D コード値を開く前、前記第 2 の 2 D コード値に対応する、呼び出された前記アプリケーションで前記第 2 の 2 D コード値を開くことのセキュリティを検証するように構成される検証ユニット

を更に含む、

前記呼び出しユニットは、前記セキュリティを成功裏に検証した後、前記第 2 の 2 D コード値に対応する前記アプリケーションを呼び出し、インタラクションのために前記第 2 の 2 D コード値を開くように構成される、請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記検証ユニットは、

前記識別情報に対応する第 1 の鍵を取得するように構成される取得サブユニットと、

前記アプリケーションに対応するアプリケーションサーバに前記第 1 の鍵を送信するように構成される送信サブユニットであって、前記第 1 の鍵は、前記アプリケーションサーバによって、前記識別情報に対応する記憶された第 2 の鍵と比較するために使用される、送信サブユニットと、

前記アプリケーションサーバから検証結果を受信するように構成される受信サブユニットであって、前記検証結果は、前記第 1 の鍵が前記第 2 の鍵に一致することに基づくセキュリティ検証の成功であるか、又は前記第 1 の鍵と前記第 2 の鍵とが異なることに基づくセキュリティ検証の失敗である、受信サブユニットと
を含む、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記装置は、

前記スキャンユニットが前記 2 D コードをスキャンして、前記 2 D コードに対応する前記第 1 の 2 D コード値を取得する前、前記第 2 の 2 D コード値に従って前記 2 D コードを生成するように構成される 2 D コード生成ユニット
を更に含む、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 1 1】

命令のセットを格納する非一時的コンピュータ可読媒体であって、前記命令のセットは、装置に 2 D コードスキャンインタラクショナル方法を行わせるように、前記装置の少なくとも一つのプロセッサによって実行可能であり、前記方法が、

2 D コードをスキャンして、前記 2 D コードに対応する第 1 の 2 D コード値を取得することと、

前記第 1 の 2 D コード値に対応する第 2 の 2 D コード値を取得することと、

前記第 2 の 2 D コード値に対応するアプリケーションを呼び出し、前記アプリケーションを介してインタラクションのために前記第 2 の 2 D コード値を開くことと
を含む、非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 1 2】

前記第 1 の 2 D コード値は、識別情報を含み、

前記第 1 の 2 D コード値に対応する前記第 2 の 2 D コード値を取得することは、前記識別情報に対応する前記第 2 の 2 D コード値を取得することを含む、請求項 1 1 に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 1 3】

前記第 2 の 2 D コード値に対応する前記アプリケーションを呼び出し、インタラクションのために前記第 2 の 2 D コード値を開く前、前記装置の少なくとも一つのプロセッサによって実行可能な前記命令のセットは、前記装置に、

前記第 2 の 2 D コード値に対応する、呼び出された前記アプリケーションで前記第 2 の 2 D コード値を開くことのセキュリティを検証することを更に行わせ、

前記第 2 の 2 D コード値に対応する前記アプリケーションを呼び出し、インタラクションのために前記第 2 の 2 D コード値を開くことは、

前記セキュリティを成功裏に検証した後、前記第 2 の 2 D コード値に対応する前記アプリケーションを呼び出し、インタラクションのために前記第 2 の 2 D コード値を開くこと
を含む、請求項 1 2 に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 1 4】

前記第 2 の 2 D コード値に対応する、呼び出された前記アプリケーションで前記第 2 の 2 D コード値を開くことのセキュリティを検証することは、

前記識別情報に対応する第 1 の鍵を取得することと、

前記アプリケーションに対応するアプリケーションサーバに前記第 1 の鍵を送信することであって、前記第 1 の鍵は、前記アプリケーションサーバによって、前記識別情報に対応する記憶された第 2 の鍵と比較するために使用される、送信することと、

前記アプリケーションサーバから検証結果を受信することであって、前記検証結果は、前記第 1 の鍵が前記第 2 の鍵に一致することに基づくセキュリティ検証の成功であるか、又は前記第 1 の鍵と前記第 2 の鍵とが異なることに基づくセキュリティ検証の失敗である、受信することと

を含む、請求項 1 3 に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 1 5】

前記 2 D コードをスキャンして、前記 2 D コードに対応する前記第 1 の 2 D コード値を取得することの前、前記装置の少なくとも一つのプロセッサによって実行可能な前記命令のセットは、前記装置に、

前記第 2 の 2 D コード値に従って前記 2 D コードを生成すること
を更に行わせる、請求項 1 2 に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。